

# 千年の都・京都から 持続可能な今後の千年を考える



日本に、  
京都があつて  
よかつた。

そうだ  
京都、  
行こう。



京都御所 紫宸殿

撮影：三好和義

(C)東海旅客鉄道株式会社

だから 京都、行こう。

京都アカデミアフォーラム in 丸の内



京都市長 門川 大作

**ものづくり** × **精神文化**



**宗教**

**文化創造**

古典からマンガ・  
現代アートまで

人々の幸せ 社会の安寧・発展を求めて

相互に刺激を与え、高め合う、

「感性」「匠の技」「智慧」が継承・創造

**「ひとづくり」**

**福祉・医療**

**国際**  
世界文化自由都市宣言

**食文化**

**教育**

それらの「**イノベーション**」・「融合」  
「大学」「産業界」「文化・芸術」「宗教」「地域」等との

融合による「**まちづくり**」が

自然と共生し、1000年を超えて継承・創造・発展

**大学・学生**

人口の1割が学生  
大学コンソーシアム49大学

**自治**

**環境**  
(京都議定書)

**自然**

**景観**

**人権**  
**多文化共生**

# 世界文化自由都市宣言 (1978年)

## 都市は，理想を必要とする。

京都は，古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都。

しかし，ただ過去の栄光のみを誇り，孤立して生きるべきではない。

広く世界と文化的に交わることによって，優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない。

われわれは，京都を世界文化交流の中心にすえるべきである。

世界の人々が，国籍・民族・宗教・国の形の違いを超えて，平和のうちに京都に自由に集い，新たな文化を創造われわれ市民は，ここに高い理想に向かって進み出ること静かに決意して，これを誓うものである。

# 京都市基本構想 (2001～2025)



21世紀の京都のあるべき姿を示す京都のグランドビジョン  
第1章は、「**京都市民の生き方**」

## 得意わざ ～京都に伝わる日本の～

**めきき** 本物を見抜く

**たくみ** ものづくりの精緻な技巧

**きわめ** 何ごとにも極限にまで研ぎ澄ます

**こころみ** 進取の精神

**もてなし** 来訪者を温かく迎える心

**しまっ** もったいない, 始末

「人と自然を大切に」(共生)

# 京都議定書採択から20年間の 京都市の地球温暖化対策の歩み



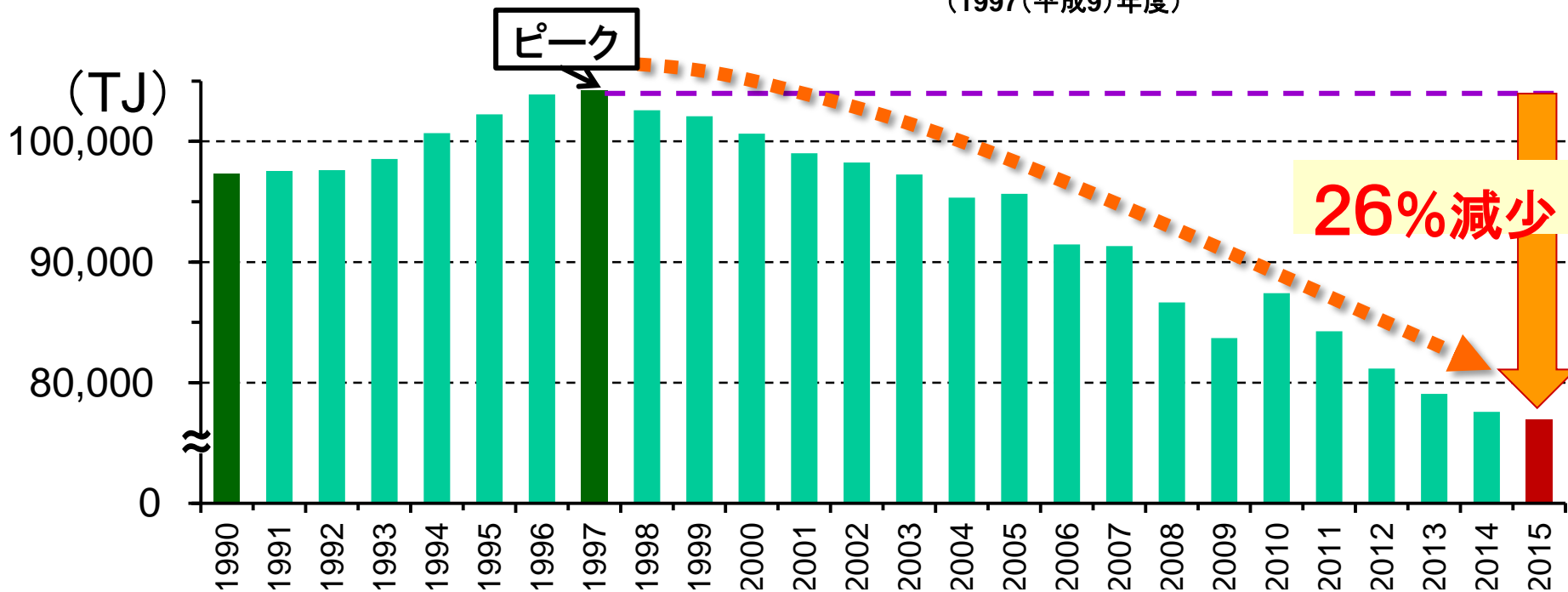
～「政策の融合」による「課題の同時解決」を目指して～

- 1997年(H 9) ➤ COP 3開催, **京都議定書採択**
- 2004年(H16) ➤ 地球温暖化対策に特化した**全国初の条例制定**  
削減目標 1990年度比 2010年までに10%削減
- 2009年(H21) ➤ **環境モデル都市**として国から選定
- 2010年(H22) ➤ 条例の全部改正  
削減目標 1990年度比 2020年までに25%削減  
2030年までに40%削減
- 2013年(H25) ➤ 「エネルギー政策推進のための戦略」制定  
エネルギー目標  
2010年度比 エネルギー消費量 15%以上削減  
再エネ導入量 3倍以
- 2015年(H27) ➤ ごみ半減をめざす「**しまつのこころ条例**」制定・施行  
COP 23開催, **パリ協定採択**
- 2016年(H28) ➤ ロックフェラー財団「**100のレジリエント・シティ**」に選定  
(気候変動の影響への適応策の向上)
- 2017年(H29) ➤ 地球温暖化対策計画改定  
(長期的未来を見据えた戦略「プロジェクト“0”への道」を掲示)

# 市民・事業者一丸となった省エネ



2015年度エネルギー消費量(京都市域)は **ピーク時から26%減少**  
(1997(平成9)年度)



## 温室効果ガス排出量 (京都市域)

1990年度に比べて 2010年度は **15%削減 目標達成!**  
// 2015年度は **3.2%削減** (日本全体 2015年度 3.9%増加)

東日本大震災以降の電源構成の変化

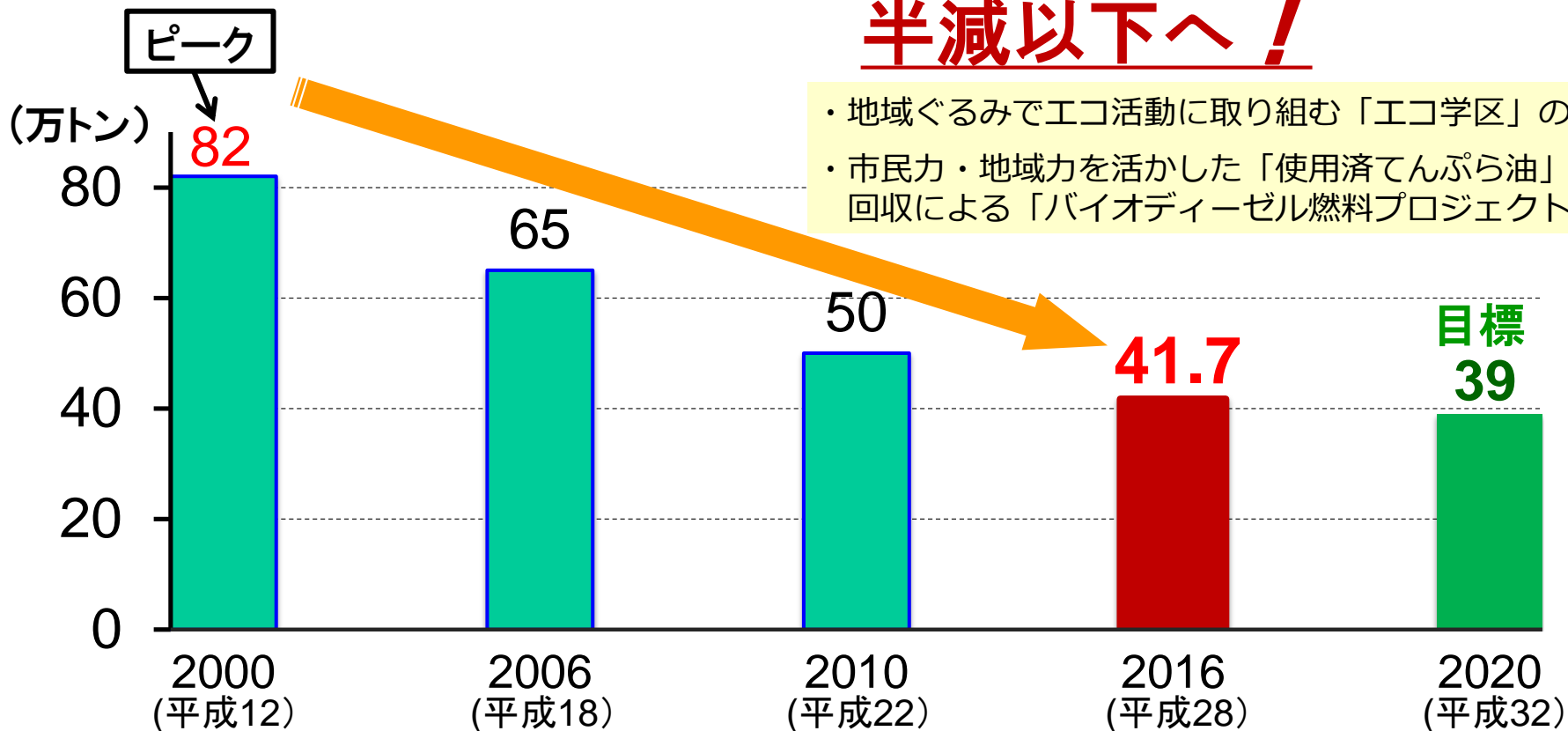
電気のCO<sub>2</sub>排出係数 2010年度 0.316 → 2015年度 **0.498** (約6割増加)

(単位:kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

# 市民ぐるみで**ごみ半減!**



ごみ量はピーク時から **ほぼ半減! (49%削減)**  
**半減以下へ!**



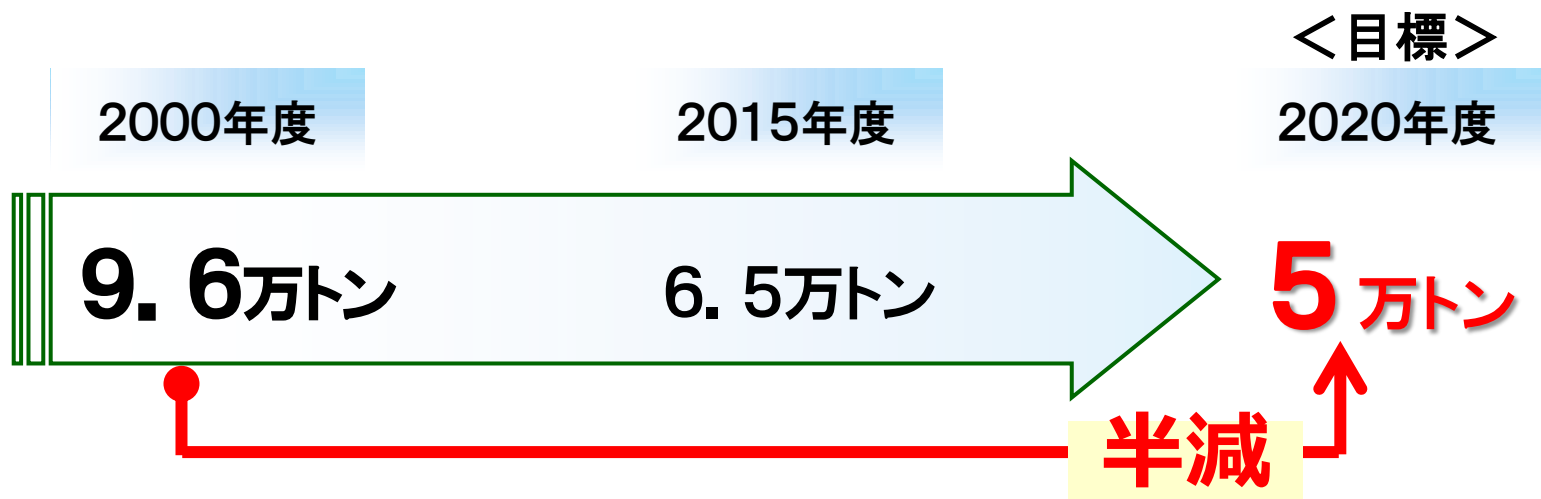
- ・地域ぐるみでエコ活動に取り組む「エコ学区」の推進
- ・市民力・地域力を活かした「使用済てんぷら油」の回収による「バイオディーゼル燃料プロジェクト」

❖ **ごみ処理コストの大幅な削減 年間154億円削減**  
2002年度 (ピーク時) : 367億円 → 2016年度 : 213億円

# 食品ロスを更に削減！半減へ！



- ❖ ごみ組成調査から推計される**食品ロス**(手付かず食品と食べ残し)排出量は**2000年度のピーク時には9.6万トン**
- ❖ **全国で初めて数値目標**を定め、**2020年度の食品ロス排出量を5万トン**にまで削減(ピーク時から**半減**)する。



- ❖ 今年度、**全国初の取組**として食品ロスが発生しにくい販売、商慣習の見直しに向けた調査・社会実験を実施



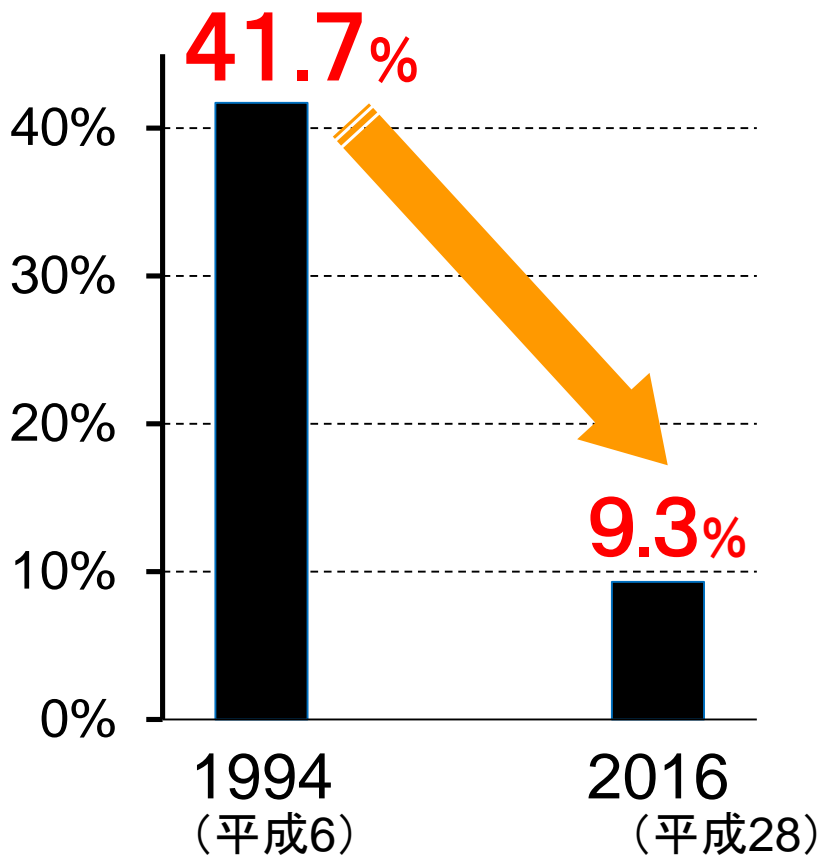
# 車中心社会から，人と公共交通優先の社会に転換

## 歩くまち・京都

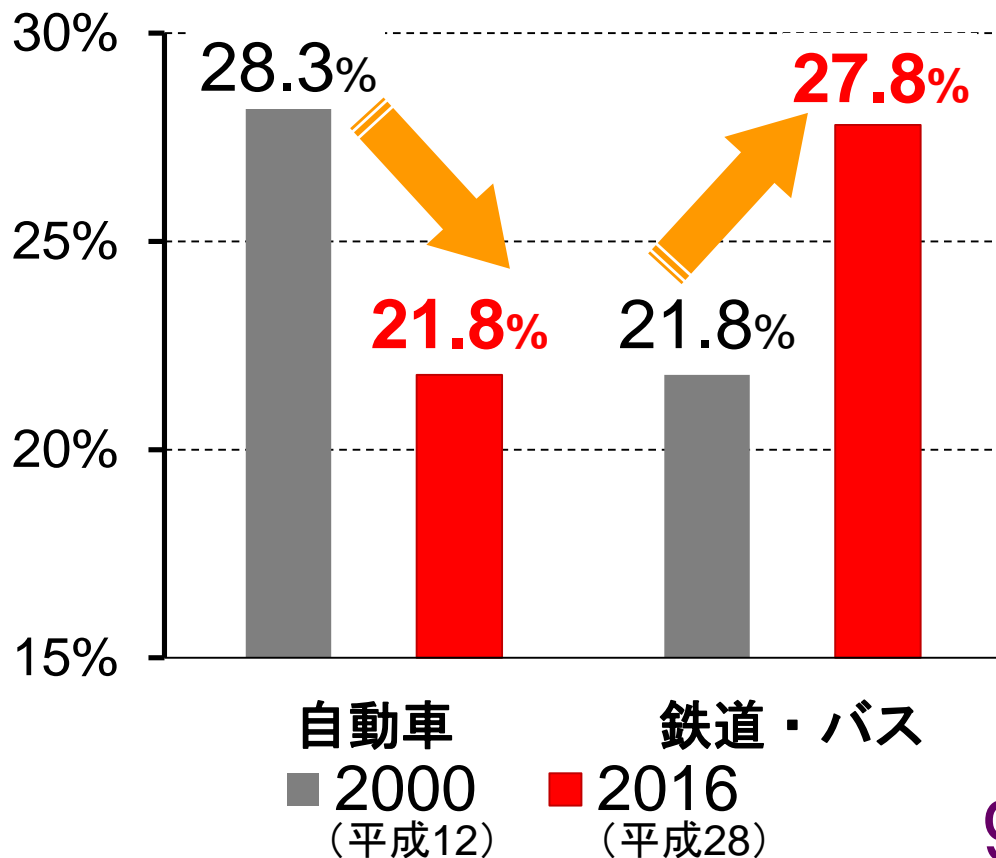


「歩くまち京都」憲章の制定（2010年1月）  
「歩くまち京都」総合交通戦略 94施策展開！  
・人が主役の魅力あるまちづくり  
・公共交通利便性向上

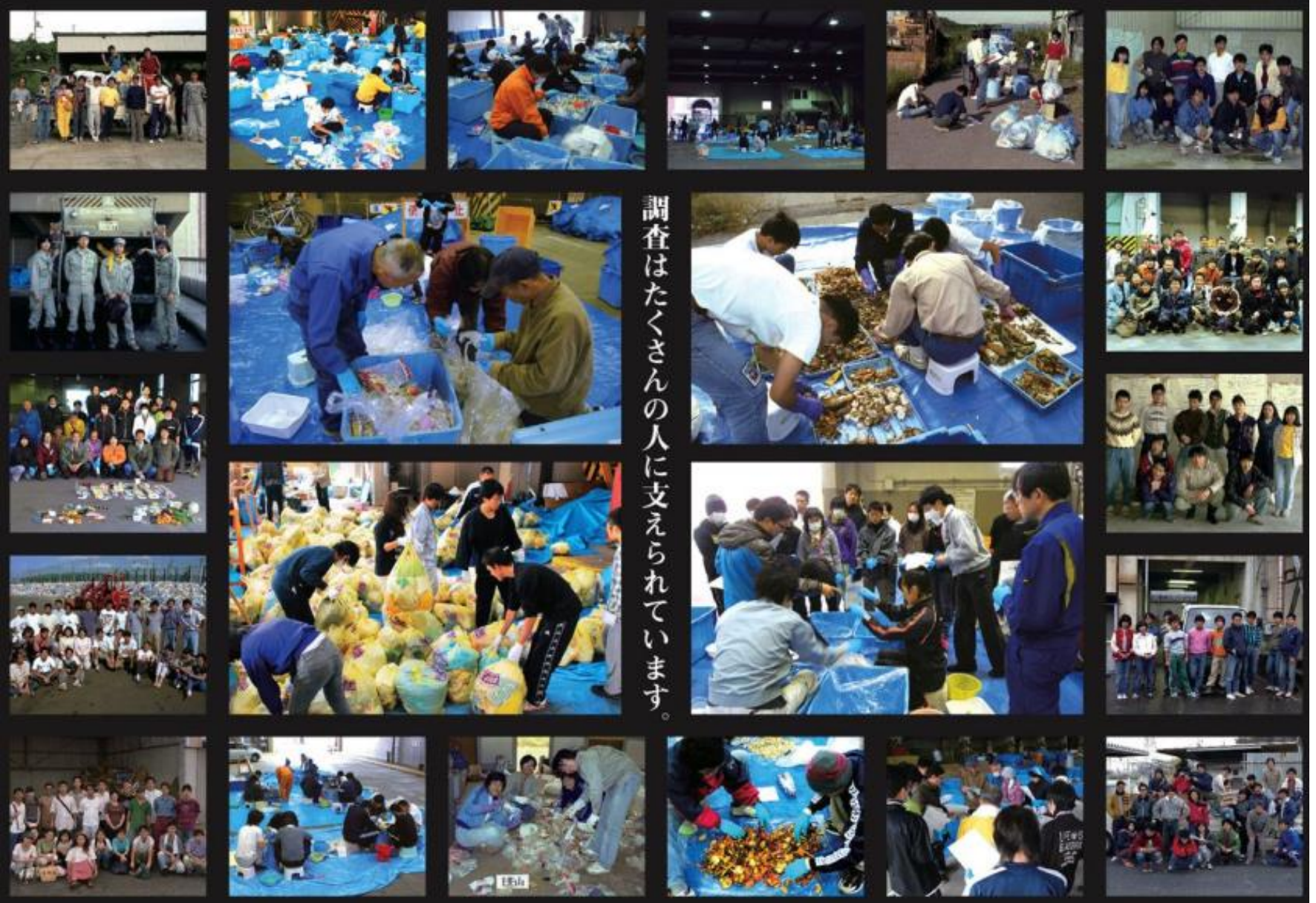
### マイカーで京都を訪れる人の割合



### 交通手段分担率



# 1980(昭和55)年から37年にわたり、**京都大学と協働して**、**ごみ細組成調査**を実施 → 成果は**全国のモデル**となる政策へ



調査はたくさんの人に支えられています。

今年3月に改定した

京都市地球温暖化対策計画に掲げる長期的未来を見据えた戦略



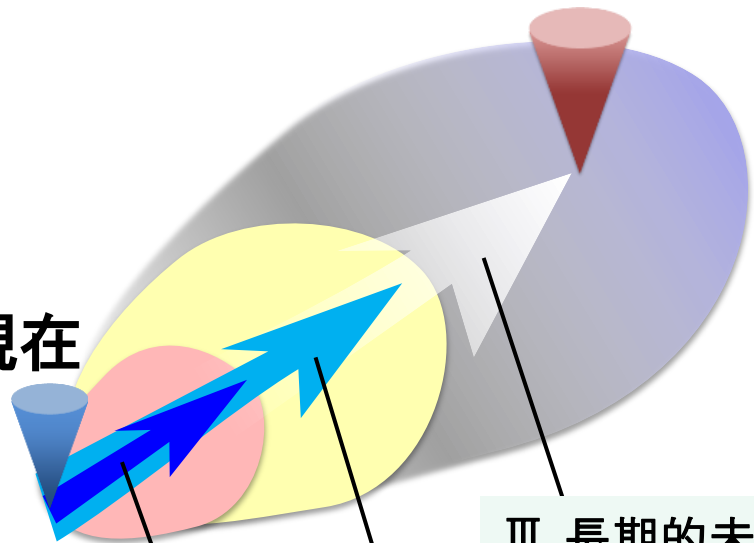
ゼロ

# プロジェクト0への道

パリ協定 目標  
人為的排出 **実質ゼロ**

長期的未来

現在



Ⅲ 長期的未来を見据えた施策

Ⅱ 中期的未来を見据えた施策

Ⅰ 削減目標達成に向け着実に実施する施策

★ **ひとづくり**

★ **ライフスタイルや  
社会の仕組みの転換**

★ **イノベーション**

ものづくり

精神文化

人々の感性・匠の技・智恵などが継承・創造

ひとづくり

大学・産業界・文化・芸術 宗教・地域等との融合

イノベーション

京都市指定伝統産業 74品目

- 京焼 清水焼
- 仏具 神具
- 酒
- 染物
- 織物
- 伝統建築
- 京町家
- 京野菜
- 林業

ものづくり



- 京料理
- 華道
- 茶道
- 香道
- 能・狂言 歌舞伎・舞
- 祭礼
- くらしの美学 生き方の哲学

文化



- セラミック
- 精密機械 医療機械
- 創薬 バイオ iPS
- コンデンサ等
- 半導体 製造装置
- 映画, マンガ, アニメ・ゲーム, 舞台芸術等

先端産業 コンテンツ産業

# 産学公の知恵を結集し、イノベーションを創出



最先端の研究を行う、全国屈指の  
**大学・研究機関が集積**



伝統産業から先端技術産業までの  
幅広い業種の**企業が集積**

## 桂イノベーションパーク

- ❖ 京都大学桂キャンパスに隣接する産学公連携による新産業創出拠点
- ❖ 先端光加工プロジェクト（京都産学公共同研究拠点「知恵の輪」）

## 京都リサーチパーク

- ❖ 全国初の民間運営によるリサーチパーク
- ❖ 400社を超えるベンチャー・中小企業や京都高度技術研究所、京都市産業技術研究所など多くの産業支援機関が集積

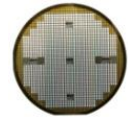
## らくなん進都

- ❖ 高い交通利便性を有する「ものづくり」拠点
- ❖ 京都市成長産業創造センター（ACT Kyoto）



例

★ 省エネ効果が顕著な**SiC**（シリコンカーバイド（炭化ケイ素））**半導体**  
**パワーデバイス**の量産化に成功、社会実装を目指す



★ 植物由来の新素材**CNF**（セルロースナノファイバー）（鉄の5倍以上の強度、鉄の5分の1の重量）の多様な用途開発

自動車車体等の軽量化による燃費向上 → CO<sub>2</sub>削減

# 京都議定書からパリ協定へ大きく飛躍

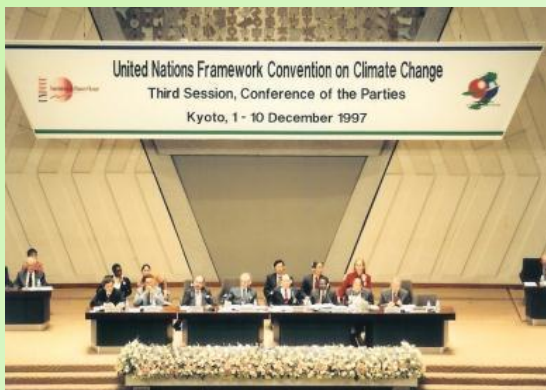


1997(平成9)年12月

COP3

<京都議定書>

- ・先進国は削減目標を設定し、温室効果ガスの削減を義務付け(日本の目標は1990年比6%減)
- ・途上国は温室効果ガスの削減義務はなし。
- ・「京都メカニズム」の経済的手法による目標達成(排出量取引、クリーン開発メカニズムなど)



2015(平成27)年12月

COP21

<パリ協定>

- ・世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて、2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追及する。
- ・出来る限り早期に、温室効果ガス排出量をピークアウトし、今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収を均衡させる。



地球環境京都会議2017 (Kyoto +20)

# 都市の役割と都市間連携の重要性



世界で人口の都市集中化が加速(現在:5割⇒2050年:7割)

- 都市における環境負荷も増大, 都市の主体的な対応がより重要に
- 問題解決のため, 都市間連携を促進し, 教訓や成功事例を共有すること等が重要

## 京都市の取組事例

- ◆ 「イクレイー持続可能性をめざす自治体協議会」
  - ・東アジア地域理事会議長(平成24年5月～現在)
- ◆ マレーシア・イスカンダル開発地域の環境教育への協力
- ◆ ラオス・ビエンチャン特別市のごみ減量への協力
- ◆ 中国・西安市の水環境及び大気改善への協力
- ◆ インド・バナラシ市の環境教育への協力
- ◆ 「指定都市自然エネルギー協議会」
  - ・会長(平成23年7月～現在)



# DO YOU KYOTO ?

環境にいいことしていますか？

